

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立三入中学校	校長氏名	竹下 雅祥	生徒指導主事氏名	高岡 昇生
取 組 事 例 名 『体育祭における縦割り活動』					
取 組 の ね ら い 『キーワード 上級生から下級生へ』					
体育祭の縦割り活動を通して、上級生・下級生が目的に向かって団結する態度を育てる。 仲間づくりを進め、学年を越えた協力体制を養う。					
取 組 の 具 体 的 内 容 『キーワード 縦割りブロック活動』					
3 年生による競技説明や応援指導、ブロック練習についての打ち合わせ等を 3 ブロックに分かれて行う。 ブロック競技前の作戦会議やブロックによる応援方法を決定するなど、集団での協力体制の育成を図る。 体育祭では、3 年生の各競技チーフからの作戦指示（競技の戦略）やブロック応援の指示を行う。 ブロック代表生徒の呼びかけにより、体育祭終了後に各ブロック会・ブロック練習時の反省やブロック応援の反省、今後に向けて後輩たちへの助言を行う。					
取組の課題・創意工夫 『キーワード 不登校対策・生徒主体』					
関わりを多く持つ必要があると考える生徒のうち、活動に参加できている生徒については、一定の成果があるが、不登校傾向生徒への声かけが難しく、生徒から呼びかけても参加できていない。 教職員はほとんど携わらない中、生徒主体でブロック活動を行う。 3 年生の競技チーフや学級代表者が先頭に立ってブロック生徒に指示し、各学級代表がブロック活動における成果と課題、今後に向けてについて発表することにより、生徒の主体性が育まれる。					
取組の成果（効果） 『キーワード 規範意識の育成』					
縦割り活動を行うことにより、問題を抱えている生徒に、どの生徒からも声かけすることができ、集団としての協力体制が育つとともに、日々の学校生活においても生徒からの声かけができてやすくなった。（規範意識の育成ができてつある。）					
今 後 の 展 開 『キーワード 生徒会を交えた対策』					
縦割り活動における不登校傾向生徒への対応について、生徒会を含め検討していきたい。 また、学校内で研修し今後の取組について検討したい。					
他校へのアドバイス 『キーワード 縦割り活動』					
本校では、体育祭以外にも、文化祭や入学式、卒業式の各種行事で、縦割り活動を行うとともに、上級生からの下級生への学習支援を行っています。 縦割り活動を行うことにより生徒の協力体制が育ち、規範意識も高まります。					